

あいちの多文化共生社会づくり

# 外国につながりを持つ子どもたちのための 日本語学習支援基金事業

〈平成28年度から令和3年度までの状況〉



令和4年3月末現在

愛 知 県

公益財団法人 愛知県国際交流協会

# 日本語学習支援基金事業の概要

## ● 日本語学習支援基金のはじまり

「最近、あの団地の中の公園で、昼間なのに外国人の子どもたちが遊んでいるのをよく見かけるけど…」

日本語学習支援基金がスタートしたのは、そんな声が各地で囁かれ、地域社会でも問題視されるようになった時期でした。外国人児童生徒が学校に行かない理由を考えた時、「日本語」というハードルが一番大きいのではないかと考えられました。日本語の理解力が向上すれば、学校の授業がもっと分かり、勉強が楽しくなり、成績も上がり、自分の将来に希望が持てるようになるのではないかと。

平成20年度に創設した日本語学習支援基金では、そのような子どもたちの日本語を学ぶ機会と居場所を提供するための事業を行ってきました。

### 平成20年度～平成27年度の事業内容

- ・ 地域の日本語教室への支援
- ・ 外国人学校への日本語指導者の派遣や雇用助成
- ・ 外国人学校への日本語学習教材の給付
- ・ 日本語能力試験受験料の助成
- ・ 外国人学校への物品、機器寄贈のコーディネート
- ・ 日本語ボランティアの養成
- ・ 進路説明会の実施
- ・ アドバイザーの派遣

基金を創設した当初、25教室だった支援対象の教室は、平成27年度に74教室と約3倍に増え、平成27年度までの8年間で延べ約1万人の外国につながる子どもの学習をサポートしてきました。

しかし、その後もアジア諸国の外国人が急増し、多国籍化も進み、引き続き学校現場だけでは日本語が話せない子どもたちの対応が難しい状況が続くことから、平成28年度、日本語学習支援基金は5年間の予定で再造成されました。

### 平成28年度～令和3年度の事業内容

- ・ 地域の日本語教室への支援
- ・ 外国人学校への日本語指導者の雇用助成
- ・ 外国人学校への日本語学習教材の給付
- ・ 日本語能力試験受験料の助成（令和2年度まで）
- ・ 外国人児童生徒学習支援推進コーディネーター養成講座（平成31年度）

#### <これまでの歩み>

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| H20年度  | 基金創設<br>事業開始（当初5年間の予定）        |
| H24年度  | 進路説明会開始（～H27）                 |
| H25年度  | 延長実施（3年間）                     |
| H28年度  | 基金再造成<br>事業継続実施<br>（当初5年間の予定） |
| R 3 年度 | 延長実施（1年間）                     |
| R 4 年度 | 基金第3次造成<br>事業継続実施（5年間の予定）     |

このリーフレットでは、6年間の支援の内容や成果、教室からの声を掲載しています。

# 日本語学習支援の内容

## 地域の日本語教室への支援

外国につながりを持つ児童生徒に日本語学習支援を行う地域の日本語教室に対し、教室の運営に必要な経費の一部を助成しました。

○教室運営費として月に2万円  
＜令和3年度は1.7万円＞

○会場費実費（月に1万円上限）

- ◆ 6年間で、県内各地域の124教室の延べ57,368人の外国につながる子どもたちの学習をサポートしました。



## 助成団体からの声

基金のおかげで教室を立ち上げることができ、初年度の運営もできた。本当に感謝している。

教室の卒業生が、日本の大学に受かったことが刺激となり、子どもたちが自分の将来について身近な問題としてとらえるようになってきた。「大学に行きたい」と言葉にするようになった。

幼い弟妹がいて、家庭で落ち着いて学習することが難しい生徒が、教室に来ることを喜んでいる。

中学生生活をどう過ごしたいか、高校生活は将来の自分の仕事にどうつなげることができるかなど、どの子も自分の将来について考えられるようになってきた。

コロナで対面学習ができなくなり、オンラインでの学習を取り入れたが、子どもたちは画面に向かい集中して学習でき、卒業生全員が高校や専門学校へ合格できた。

中学校1年生で来日した直後から、ずっと支援してきた生徒が今春大学に合格した。教室の意義を改めて感じた。

7年前の教室1期生が愛知県教員採用試験に合格し、犬山市で小学校教員となった。

## コロナ禍ではオンラインでの学習も支援対象にしました！

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの教室で対面での学習支援が難しくなり、オンラインでの学習支援に取り組む教室も出てきました。そこで、日本語学習支援基金の事業審査委員の方々と検討し、オンラインでの学習支援についても、特例として支援対象としました。

# 日本語学習支援の内容

## 日本語指導者の雇用助成

外国人学校に対し、学校が雇用する日本語指導者の経費の一部を助成しました。（週に12時間を上限）

- ◆ 6年間で、6校の外国人学校の延べ51,370人の外国につながる子どもたちの日本語学習をサポートしました。



### 助成校からの声

初めのうちは、日本語の先生が全くポルトガル語を話せないということで、子どもたちの表情も硬かったが、少しずつ習った日本語とポルトガル語を使い冗談を言うなど、先生とコミュニケーションをとろうとする様子が見られるようになった。

国語の教科書の詩を気に入って、「手のひらを太陽に」をみんなで歌うことが楽しいと言っている。

## 日本語学習教材の給付

外国人学校へ日本語学習のための教材を給付しました。（1年間で生徒1人あたり1,500円×2冊を上限）

- ◆ 6年間で、2,152冊の日本語学習教材を送りました。

### 助成校からの声

生徒それぞれに読みたかった本をいただけて、子どもたちも喜んでいる。

いただいた教材の中に出てくる日本語を使って、子どもたちが話しかけてくれるようになった。



外国人学校へは、基金の審査委員でもある日本語教育の専門家が学校を訪問、視察し、学習方法についてアドバイスをしたり、また、一般の方からの机やイス、クリスマスツリーなどの寄贈物品を届けるコーディネートも行いました。

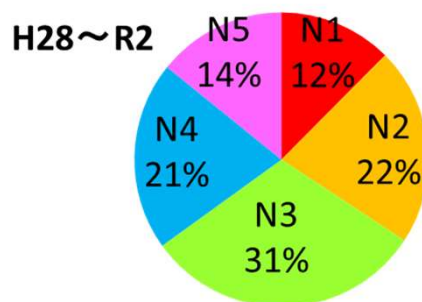
# 日本語学習支援の内容

## 日本語能力試験受験料の助成

基金が支援する日本語教室や外国人学校に通う児童生徒が「日本語能力試験」を受験して合格した場合に、その受験料相当額を助成しました。（図書カードを贈呈）

- ◆ 5年間で、日本語教室や外国人学校で学習した289人の児童生徒が日本語能力試験に合格しました。合格者のうち、約3割の児童生徒が、難易度の高いN1・N2に合格しています。

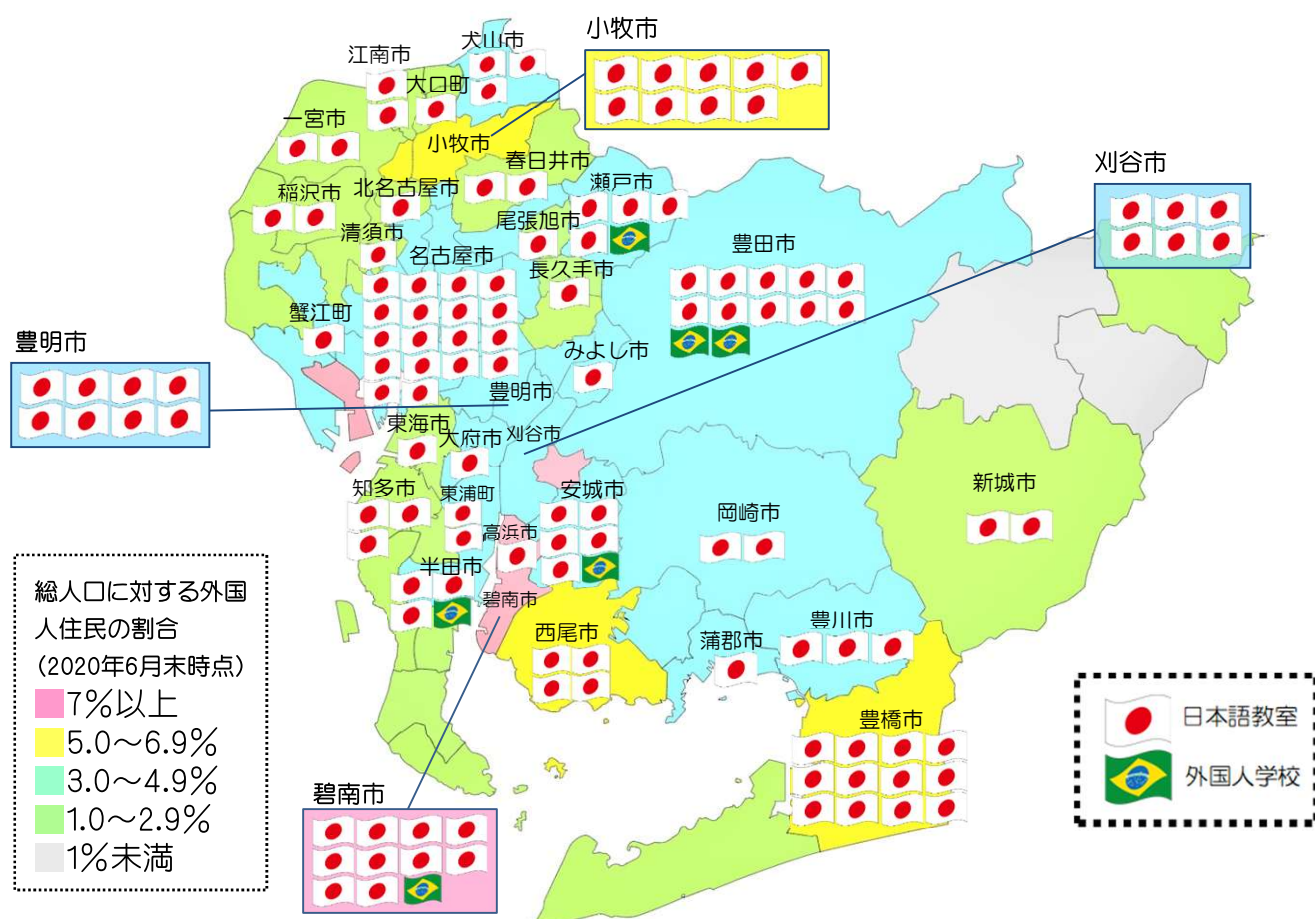
＜令和3年度は実施なし＞



### 助成団体からの声

合格すると図書カードがもらえることもあり、日本語能力試験合格の目標に向け、日々意欲を保って継続して勉強できている。

## 6年間に基金が助成した市町村別日本語教室数及び外国人学校数



# 教室・学校での子どもたちの学習の様子



## 日本語教室の様子

子どもたちに仲間意識が芽生えてきて、親しげに話したり、休むと心配するようになったり、また、勉強を教え合ったりするようにもなりました。



教室は、高校生活や進路の悩みをスタッフや友達に話せる居場所になっています。



学習方法は教室によって様々。絵カードやカルタを使いながら、新しい言葉や歴史を学んだりもします。



コロナ禍では、オンライン授業も多く教室で行われました。

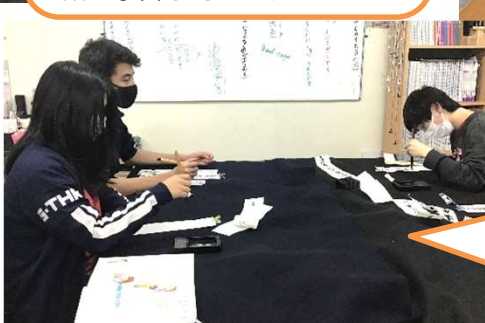


教室活動では、日本の文化・風習を体験して学んだり、誕生日やクリスマスなどのイベントを楽しんだりもします。



## 外国人学校の様子

小さな子どもは体を動かしながら言葉を覚えたり、タブレットを使いこなして、多読の勉強をするなど、子どもの年齢に合わせた方法で、日本語を学習しています。



俳句の授業で「にほんごはむつかしいけどたのしいな」と作ってくれた生徒がいました。難しくても楽しいと感じられる学習を続けていきたいです。

# ご寄付の受入状況

109件 7,744万4千円

(令和4年3月末日現在)

## ○ 寄付者の皆様

(氏名・企業名の公表にご了解いただいた方のみ記載・五十音順)

### 個人

亀井 雅子様 はじめ、のべ19名様

### 企業・団体

アイシン・エイ・ダブリュ(株)様、(株)愛知銀行様、愛知県教員組合様、(公社)愛知県宅地建物取引業協会様、愛知製鋼(株)様、伊勢湾海運(株)様、いちい信用金庫様、伊藤忠商事(株)様、イノチオホールディングス(株)様、HIC豊安工業(株)様、NDS(株)様、(株)大木家様、(株)大嶽安城様、岡崎信用金庫様、岡谷鋼機(株)様、小原建設(株)様、蒲郡信用金庫様、(株)川瀬電気工業所様、(株)共栄組様、共和食品工業(株)様、(株)きんでん様、小池商事(株)様、(株)コムライン様、(株)サーラコーポレーション様、ササキセルム(株)様、(株)ジーエスエレクトリック様、(株)ジェイテクト様、新英金属(株)様、新日鐵住金(株)様、(株)杉浦製作所様、住友理工(株)様、せいりん総合法律事務所様、大三紙業(株)様、玉野総合コンサルタント(株)様、(株)中京銀行様、中部国際空港(株)様、中部電力(株)様、(株)デンソー様、東海光学(株)様、東海設備工業(株)様、東海東京証券(株)様、東邦ガス(株)様、東和不動産(株)様、徳倉建設(株)様、豊川信用金庫様、豊島(株)様、豊田合成(株)様、トヨタ自動車(株)様、(株)豊田自動織機様、トヨタ車体(株)様、豊田通商(株)様、トヨタ紡織(株)様、トヨタホーム(株)様、(株)トヨタテック様、豊橋信用金庫様、名古屋空港ビルディング(株)様、名古屋競馬(株)様、名古屋鉄道(株)様、(株)ニッショー様、(株)ニデック様、日本ガイシ(株)様、ニューメリカルテクノロジーズ(株)様、(株)ハクヨプロデュースシステム様、福玉(株)様、(株)フジトランスコーポレーション様、ブラザー精密工業(株)様、碧海信用金庫様、丸徳産業(株)様、(株)三河機工様、三井物産(株)様、三菱商事(株)様、(株)三菱UFJ銀行様、名港海運(株)様、ヤマサちくわ(株)様、ユタカコーポレーション(株)様、ユニーグループ・ホールディングス(株)様、リンナイ(株)様 はじめ、90企業・団体様